

2014年10月27日

一般社団法人

日本クラウドセキュリティアライアンス

クラウドセキュリティシンポジウム “CSA Japan Congress 2014” を開催

CSA ジャパンメジャーイベント第2弾、グローバルコンGRESSシリーズの一環として

一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス（CSA ジャパン、会長：吉田眞東京大学名誉教授）は、クラウドコンピューティングにおけるセキュリティ課題をベンダ、ユーザと共に考えるシンポジウム “CSA Japan Congress 2014” を開催します。

2014年11月21日(金)午前10時開始 於：一橋講堂

クラウドコンピューティングは、サービスプロバイダの多様化が進むとともに、ユーザサイドも基幹系への導入が進むなど、その活用の場と形はますます広がっています。

Internet of Things が現実動き出す中で、その可能性に大きな期待が持たれる一方、深刻な情報漏えい事案の多発や、ソーシャルサービス等からの ID の流出問題など、クラウド環境が関わるセキュリティとプライバシーの懸念も拡散しているという現実があります。

こういった状況に鑑み、クラウドのセキュリティについて多面的に取り上げ、クラウド利用者に最新の情報を提供するとともに、クラウドサービスベンダ、セキュリティベンダと一堂に会して、クラウドを取り巻くセキュリティ課題を考える場として、“CSA Japan Congress 2014” を開催します。

【開催概要】

主催： 一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス

後援： （いずれも予定または申請中）

内閣官房情報セキュリティセンター

総務省

経済産業省

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム(ASPIC)

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会(JASA)

一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)

一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会

協賛： 日本ヒューレット・パッカー株式会社（プラチナスポンサー）

ハミングヘッズ株式会社（プラチナスポンサー）

マクニカネットワークス株式会社（プラチナスポンサー）

株式会社イーセクター（ゴールドスポンサー）

バリオセキュア株式会社（ゴールドスポンサー）

JB サービス株式会社（ゴールドスポンサー）

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（ゴールドスポンサー）

プレスリリース

会場： 一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 03-2412-3900

<http://www.hit-u.ac.jp/hall>

受講料： 無料

定員： 130名（先着順受付、定員に達したら締め切ります）

Web サイト： http://www.cloudsecurityalliance.jp/CSA_Japan_Congress_2014.html

申込み： Web サイトの案内に従いお申し込みください。

【ポイント・見どころ】：

- 我が国情報セキュリティ政策の司令塔である内閣官房情報セキュリティセンターより、参事官である三角育生氏をお招きし、「我が国のサイバーセキュリティ政策に関する現状と今後」について説明していただきます。
- クラウドの普及に伴って大きく脚光を浴びている Big Data に関して、CSA ジャパンの副会長であり、日本のネットワークとセキュリティに関する第一人者である大和敏彦より「ビッグデータ時代のクラウドセキュリティ」と題する講演を行い、問題提起を行います。
- 昨今注目を集める大規模情報漏えい事案に関して、「クラウドにおけるデータセキュリティ」という視点から、CSA ジャパン幹部によるパネルディスカッションを行い、会場参加者も交えて多面的な議論と検討を行います。
- スポンサー各社から、最新のソリューションの展示を行います。

【プログラム】

9:40	受付開始	
10:00~10:05	開会 挨拶	吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
10:05~10:55	特別 招待講演	我が国のサイバーセキュリティ政策に関する現状と今後 三角育生氏 内閣官房情報セキュリティセンター(NISC) 参事官
10:55~11:15	休憩 / スポンサー展示	
11:15~11:40	基調講演 1	クラウド時代に求められる ITセキュリティのリテラシー：クラウドセキュリティの「Prudent Man Rule」 テルミ ラスカウスキー 日本ヒューレット・パッカード株式会社 認定セキュリティ講師 パスファインダーズ・ジャパン株式会社 代表取締役社長
11:40~12:00	テーマ 講演 1	CSA が提供する STAR セキュリティ認証： その仕組みと考え方（仮題） 副島秀樹 CSA ジャパン STAR 認証 WG サブリーダー BSI グループジャパン株式会社 マーケティング本部
12:00~13:10	昼食休憩 / スポンサー展示	
13:10~13:40	特別 テーマ 講演	ビッグデータ時代のクラウドセキュリティ 大和敏彦 日本クラウドセキュリティアライアンス副会長 株式会社アイティアイ代表取締役／元シスコジャパン CTO

13:40~14:05	基調講演 2	クラウドと O-day 攻撃 -サーバ OS を守る技術- 石津広也 ハミングヘッズ株式会社販売・システム・マーケティングコンサルタント
14:05~14:25	テーマ 講演 2	クラウドにおける Internet of Things その可能性とセキュリティ課題 二木真明 CSA ジャパン代表理事 IoT WG リーダ アルテア・セキュリティ・コンサルティング代表
14:25~14:50	基調講演 3	クラウド・SaaS に怯えない。リスク管理・ポリシー設定・セキュリティ対策で 積極活用にシフトチェンジ 渋谷勝則 マクニカネットワークス株式会社ビジネスデベロップメント室 室長
14:45~15:05	休憩 / スポンサー展示	
15:05~16:25	パネル ディスカ ッション	情報漏えい事件からひも解くクラウドの「データ」セキュリティ モデレータ： 諸角昌宏 CSA ジャパン理事・情報発信委員長 CCM WG リーダ (合)鵜パートナーズ代表 パネリスト： 二木真明 CSA ジャパン代表理事 IoT WG リーダ アルテア・セキュリティ・コンサルティング代表 笹原英司 CSA ジャパン代表理事 医療情報 WG・BigDataWG・MobileWG 各リーダ NPO ヘルスケアクラウド研究会理事 高橋郁夫 CSA ジャパン監事 駒澤綜合法律事務所代表 弁護士 川上智明 グローバルセキュリティエキスパート株式会社 コンサルティング事業部マネージャ (予定)
16:25~16:30	閉会挨拶	勝見 勉 日本クラウドセキュリティアライアンス理事・事務局長 (株)情報経済研究所代表取締役

[クラウドセキュリティアライアンス (CSA) について]

- 米国 ISSA (情報システムセキュリティ協会) の CISO 会議をきっかけに 2008 年 12 月に現 CEO の Jim Reavis らによって設立された、非営利の活動法人 (米国籍)。
- クラウドコンピューティングにおけるセキュリティに関するベストプラクティス (最良実践規範) の提供と、その普及啓発に取り組んでいる。
- 2009 年 4 月の RSA Conference (サンフランシスコ) で発表した Security Guidance for Critical Areas of Focus in Cloud Computing (クラウドセキュリティガイダンス) は世界的注目を浴び、以来クラウド業界、セキュリティ業界、関係技術者、政府関係者等に広く影響を与えている。
- 現在、個人会員約 6 万人、企業会員約 200 社、提携団体 24、地域支部 70 を擁する。
- 主なレポート・活動に上述の「ガイダンス」(V3.0) の他 Cloud Control Matrix(CCM)、Trusted Cloud Protocol、クラウドコンピューティングの 10 大脅威、ビッグデータのプライバシー/セキュリティにおける 10 大脅威、CloudCERT などがある。
- <https://cloudsecurityalliance.org/>

[一般社団法人クラウドセキュリティアライアンスについて]

- 2010年6月に任意団体として発足し、CSAの世界で第2番目の支部として公認を受ける。2013年12月に企業会員の参加を得て一般社団法人として法人化、活動の強化拡大に取り組んでいる。
- CSAの活動に参加しつつ、「ガイダンス」、CCM、ビッグデータのプライバシー／セキュリティにおける10大脅威（ともに上述）の日本語訳の提供や、CSAが提供する資格認定制度であるCCSK（Certificate of Cloud Security Knowledge）の日本語化等を手掛ける他、日本独自のワーキンググループ活動に取り組んでいる。
- 会長：吉田眞東京大学名誉教授 代表理事：笹原英司、二木真明
- <http://www.cloudsecurityalliance.jp/>

[Internet of Things <IoT>とは]

- 「人」が利用するコンピュータやスマートフォンだけでなく、自動車、機械装置、センサー、家電製品など、ならゆる「モノ」がインターネットにつながることを示す用語。更に概念を広げて **Internet of Everything**（あらゆるもののインターネット）と言われることもある。
- IoTが進むことによって、社会を構成する多くのものが自動や遠隔で制御できたり、他領・多面的なデータを収集・解析することで経済社会の様々な面で新たな動きや付加価値を形成できる可能性を秘めた概念として注目を浴びている。
- その一方で、悪意のある第三者がネットワークを通じて侵入することで意図しないご動作を起こさせたり、データを不正使用するなどのリスクも指摘されており、**Internet of Things <IoT>**におけるセキュリティも注目されている。
- CSA ジャパンでは、特にIoTのためのサーバのセキュリティに焦点を当て、その調査・評価に取り組むとともに、CSAの世界的活動の中での取り組みにもイニシアティブを取るべく、ワーキンググループ活動を進めている。

[“Congress”の呼称について]

- 元々は「議会」を意味する言葉から、近年では重要人物が集まる後援・シンポジウムイベントの呼称として使われるようになってきている。
- CSAでは本部および各支部において、世界的に、その開催する主要なカンファレンス・シンポジウムに対して“Congress”“Summit”の呼称を適用している。
- CSA ジャパンでもこれを踏襲し、5月に開催した“CSA Japan Summit 2014”^{*}に続き、今回“Congress”を開催するもの。

* http://www.cloudsecurityalliance.jp/Summit_May.html

【本件に関するお問い合わせは以下までお願いします】

一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス
〒102-0082 東京都千代田区一番町 一番町ウエストビル 5F
メール： info@cloudsecurityalliance.jp
電話： 090-8753-4306（事務局長・勝見勉の携帯番号）

以上